



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第37号

平成27年8月5日発行

さよう



笑顔いっぱい

もくじ

- ・第67回定例会
 平成27年度補正予算 新規事業可決2
- ・一般質問 8人の議員が斬りこむ7
- ・**13地域づくり協議会単位で議会報告会**
 身近な話題に活発な意見16
- ・「子ども議会」を開催します裏表紙

姫新線及び智頭線利用促進状況調査

森林資源活用計画調査など 総額 1億2千万円の増額

新規事業

第67回定例会は、6月9日から23日までの15日間の会期で開かれ、緊急通報センター条例、平成26年度一般会計補正予算、平成27年度一般会計補正予算など30件が慎重審議され、29件が原案どおりの可決され、議員発議1件が継続審査となりました。

一般質問は、8人の議員が登壇し活発な議論を展開しました。

■姫新線及び智頭線利用促進調査

鉄道網連携強化に調査費760万円

姫新線及び智頭線の利用促進を図るための調査で、姫新線の混雑緩和と車両増結に向けた課題調査や、佐用駅での智頭急行との連続性強化対策を検討します。

■森林資源活用調査

森林情報もGIS活用 委託料2200万円

森林施業図や森林簿などの情報を地図データ上に落とし、森林資源の管理・活用の効率化を図るもので、総務省の「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」として指定を受け実施します。



▲佐用駅の智頭線 1 スーパーはくと、 2 スーパーいなば、と 3 姫新線

第66回臨時会

(5月1日)

第7代議長に

西岡 正 議員選出

残任期間を務めることになりました。

石黒永剛議長から体調不良による議長辞職願が4月に提出されたことを受け、臨時会が開催されました。

また、議長交代により次のとおり組合議会議員も選出しました。

臨時会では、石黒議長の辞職を承認し、引き続き議長選挙の結果、西岡正議員が当選、1年間の

- ・ 播磨高原広域事務組合 西岡 正 議員
- ・ 西はりま消防組合 西岡 正 議員
- ・ 石黒永剛 議員

就任のごあいさつ

合併10年、大変大きな節目であります。二元代表制を遵守し、住民の福祉向上と町発展のために全力を傾注していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

議長 西岡 正



地方創生具体化へ

平成27年度一般会計補正予算 新たな事業を可決

議決案件

■工事請負契約の締結

南光小学校施設の大規模改造工事で、内容は床・壁の改修、洋式トイレ・照明(LED化)・障害者対応としてエレベーターの設置など。

契約先 (株)春名建設
契約額 7776万円

諮問

■人権擁護委員推薦に対する意見は適任としました。

人権擁護委員

衣笠まゆみ氏 (安川)

選挙

■にしはりま環境事務組合議会議員の選挙

石黒永剛組合同議員の辞職に伴う選挙で、廣利一

志議員が選出されました。

報告

■専決処分の報告

公用車の交通事故による損害賠償額を定め和解。損害賠償額 11万3600円

承認

■専決処分の承認

■過疎地域の指定に伴う固定資産税の課税免除に關する条例の一部改正を承認。

■地方税法の改正による、税条例等の一部改正を承認。

■平成26年度補正予算

平成26年度事業の確定及び精算による不用額の整理等。(P4表参照)

補正予算

■平成27年度一般会計補正予算案

反対討論

金谷英志 議員

反対理由は、議員報酬の引き上げの計上である。

この引き上げにあたっては、3月議会の条例改

正で「住民意識調査で住民の多数が引き上げに反対であること」「県下の状況からしても報酬・給与は低くないこと」「勤労統計や町民の実態からしても引き上げるべきではない」との主張をした。この補正予算であり認められない。

平成27年度一般会計補正予算額の主なもの (単位：千円)

予算費目(款)	補正額	主たる要因
議会費	6,420	議員報酬月額改定に伴う報酬・期末手当・共済費の増額
総務費	2,282	特別職報酬月額改定に伴う給料・手当・共済費の増額
	7,600	姫新線及び智頭線利用促進状況調査委託料
農林水産業費	6,523	地方公共団体情報システム機構交付金
	27,000	那手地区土地改良事業共同施行補助金
	30,240	農産物処理加工施設工事請負金
	22,000	森林資源活用計画調査委託料
商工費	5,000	住民参画型森林整備事業補助金
	1,000	笹ヶ丘公園落石防止工事測量委託料
教育費	644	特別職報酬月額改定に伴う給料・手当・共済費の増額

賛成

岡本 安夫 議員

西はりま消防組合の構成市町は既に民間委託している。改正は、佐用消防署に通信指令室がなくなることによるもの。

民間委託だからといって、信頼性や機能が低下するものでない。まして町の責任がなくなるものでもない。

経費面では、負担が多少増えるかもしれないが、新たなサービスも期待でき賛成する。

緊急通報センター条例の一部改正
平成28年4月、佐用消防署の通信指令業務が西はりま消防組合本部へ移転することによる改正で、現在の緊急通報センター事業は民間に委託し継続します。

可決

反対

平岡きぬゑ 議員

現在の緊急システムは煙を探知し消防署に連絡が入る機種で、これまでも火災をくい止める役割を果たした実績がある。一概に民間委託が悪いとは言えないが、委員会審議で当局は、緊急システムを民間に委託するが、健康相談などの見守りの対応は、費用対効果から考えていないと答弁。緊急システムを民間に委託するのではなく、引き続き町が責任をもって体制を取るべきだ。

賛成

岡本 安夫 議員

3月に十分な説明を受けた。以前から、さよう子育て支援センターで合同事業を行っており、地域の設置条例が残っていても条例違反に当たらない。

子どもが少なくなる中一本化され、同じ施設で同じサービスを受けられる。少しでも大勢の子どもがられあい、交流ができて活気も出てきた。実際、会員数も増えている。少子化の時、当然の流れであり賛成する。

子育て支援センター条例の一部改正
佐用・上月・南光・三日月地域子育て支援センターを廃止し、さよう子育て支援センターに事業を一本化するもので、開所日が週6日になるなど支援内容が充実しました。

可決

反対

平岡きぬゑ 議員

3月議会の最終日に、町長が報告したとして条例改正も行わないまま子育て支援センターでママプラザ事業を4月から実施している。

条例の施行は、制定後将来に向かって実施されるもので、条例改正の議決なしでの町政運営は議会無視だ。

事業を変更する場合は、周知して、納得して進めていく住民本位の町政運営が必要だ。議会無視の条例改正に反対する。

平成26年度補正予算額（歳出）（単位：千円）

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	1,390	13,389,887
メカソーラー事業収入	※歳出区分のみの変更	13,160
国民健康保険	△87,187	2,270,498
後期高齢者医療	△24,148	293,566
介護保険（事業勘定）	△3,698	2,185,302
〃（サービス事業勘定）	584	10,501
朝霧園	△3,676	127,019
簡易水道事業	△26,130	812,504
特定環境保全公共下水道事業	△15,067	1,081,214
生活排水処理事業	△6,822	417,616
西はりま天文台公園	△815	114,235
笹ヶ丘荘	△10,146	124,429
歯科保健	△3,135	23,588
宅地造成事業	△22,347	1,505
特別会計合計	△202,587	7,475,137

第67回定例会 賛否が分れた議案

議案名	採決結果
緊急通報センター条例の一部改正	賛成多数 (反対議員) 金谷英志 平岡きぬゑ 可決
子育て支援センター条例の一部改正	賛成多数 (反対議員) 金谷英志 平岡きぬゑ 可決
平成27年度一般会計補正予算案（第1号）	賛成多数 (反対議員) 金谷英志 平岡きぬゑ 可決

委員会付託

総務常任委員会(6/17)
産業厚生常任委員会
(6/3、18)

総務常任委員会

委員長 小林裕和

6月17日

■平和安全法制整備法案 国際平和支援法案の廃案 を求める意見書(案)

委員会では、この法案の違憲判定後の国会において、砂川事件最高裁判決や72年の政府見解を根拠にした「合憲論」は、集団的自衛権行使を違憲とした72年政府見解の読み替えで、今回、「基本的な論理」はそのままでも「安全保障環境が根本的に変容」したとして、グローバルなパワーバランスの変化などの世界情勢を論じ、明確な答弁は

なく「結論」だけを転換しているとの賛成意見がありました。

反対意見では、国民の命と平和な暮らしを守ることは、政府の最も重要な責務であり、我が国の安全を確保していくには、世界のあらゆる事態に切れ目のない対応と法整備が必要である。国益のために、国際社会が支援する中で日本だけがその一員として活動しないのは、日本の平和と安全は守れないとの意見がありました。

審査の結果、この問題に対する国民の理解度は低く、十分に理解されていないとは言えない状況から国民の理解が不可欠であり、国会において近年の国際状況を踏まえ、十分に議論・審議を尽くされることが重要であるため、本委員会としては継続審査とすることに決しました。

結果・継続審査

産業厚生常任委員会

委員長 石堂 基

6月3日

■米価対策の意見書 を求める請願(継続審査)

審査において、国が進めている農政改革は佐用町のような中山間を守るための日本型直接支払制度の強化などが中心であり、多額の財源を要する生産調整に伴う米価補てん交付金制度を継続することで、農政改革全体に要する経費が制限され、制度改革推進に影響が考えられるとした反対意見がありました。

賛成意見では、米直接支払制度の半減措置や米価変動補てん交付金制度の廃止は、生産者に二重三重の困難をもたらす。米価の暴落と流通の停滞が過剰米にあることが明らかで現状を改善するために、生産調整が不可欠との意見が出されました。

結果・賛成少数 否決

■TPP交渉に関する請願(継続審査)

審査において、交渉の山場を迎えているこの時期に、農業部門だけをとりえて撤退することは、他の交渉分野への影響が大きく、国内の経済全体から考えると好ましくないとの意見が出されました。

これに対する賛成の意見では、今回の交渉は農業部門だけではなく、医療や保険など他の分野においても交渉の大きな譲歩が見え、特に農業部門では国会決議を行い公約としているにも関わらず、譲歩する交渉が進められ非常に危険であるとの意見が出されました。

結果・賛成少数 否決

6月18日

■緊急通報センター条例の一部改正

改正に反対する意見として、佐用消防署で行わないというだけではなく、

民間に委託するということは、町が責任を持たない体制であるとの反対意見がありました。

賛成する意見では、来年4月以降運用がでなくなる現在の緊急通報センター体制を、利用者に不利益が生じないようにするためのもので、業務の委託も含め今後検討を進める上で必要な改正であり、さらには、専門的な経験を有する委託先の選定により、よりよいサービス向上も期待できるという意見がありました。

民間に委託するということは、業務を実施していることは条例違反であり、事業統合の十分な説明もなく利用者の声も聞かないやり方は問題がある。旧町の事業充実が必要であるとの反対意見がありました。



▲緊急通報システム

■子育て支援センター条例の一部改正

審査では、条例改正を行わず、4月からさよう

前にさよう子育て支援センターで事業を行っていることが条例違反との指摘については、昨年度から合同事業が子育て支援センターの中心的な活動として進められており、センターの設置だけを明記している現行条例に違反する旨の指摘には当たらないとの意見がありました。

結果・賛成多数 可決

みなさんからの 請 願 はこうなりました

6月定例会で審議した請願の委員会・本会議での採決結果を報告します

請願名	請願者と紹介議員	請願趣旨	委員会採決結果	付託委員会	本会議採決結果
米価対策の意見書を求める請願	兵庫県農民運動連合会代表者 永井修 (紹介議員：平岡きぬ糸・金谷英志)	次の事項の実現を求める意見書を政府に提出すること。 1、価格の暴落と流通の停滞の原因は過剰米にあることはあきらかであり、過剰米の市場隔離を官民あげて実施するなど、米穀の需給調整に直ちに乗り出し、米価の回復をはかること。 2、米直接支払交付金の半減措置と米価変動補てん交付金の廃止を撤回し、農家の経営安定対策をとること。	不採択 賛成1人 反対5人	産業厚生 ※3月議会提出・継続審査の案件	不採択 賛成2人 (金谷・平岡) 反対11人
T P P 交渉に関する請願	兵庫県農民運動連合会代表者 永井修 (紹介議員：金谷英志・平岡きぬ糸)	次の事項について意見書を政府関係者に提出すること。 1、T P P 交渉に関する国会決議を順守し、守れない場合は交渉から撤退すること。	不採択 賛成1人 反対5人	産業厚生 ※3月議会提出・継続審査の案件	不採択 賛成2人 (平岡・金谷) 反対11人
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する件	兵庫県教職員組合佐用支部支部長 高見英治 (紹介議員：山本幹雄)	2016年度政府予算編成において次の事項が実現されるよう国の関係機関へ意見書を提出すること。 1、子どもたちの教育環境改善のために計画的に少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。 2、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。	—	即 決	採 択 全会一致

請 願

本会議での討論

※討論があった案件
■米価対策の意見書を求める請願

反対討論

矢内作夫 議員

昨年度より農業生産者には、限られた財源の中で4つの大きな制度改革が行われようとしている。その中でも、佐用町のよ

うな中山間を対象にした日本型直接支払制度の創設は、農地の保全や集落営農の維持に手厚くしてあり、全国的にも好評である。米価を維持するためだけに生産調整の財源を増やすことは、他の制度改正に影響を及ぼすものであり反対する。

賛成討論

平岡きぬ糸 議員

2014年産米価は、40数年前の水準にまで下がり、肥料や燃料費などの物財費さえ確保できな

賛成討論

平岡きぬ糸 議員

い価格だ。政府は今年から米の直接支払交付金を10アールあたり1万5000円から7500円に半減、米価下落補てん金も廃止。規模拡大した農家ほどその影響は深刻で、地域経済にも大きな打撃を与えるものだ。政府に、米の需給調整で米価の回復を求めるなどの意見書提出に賛成する。

反対討論

岡本安夫 議員

これまで佐用町議会ではT P P に反対する決議を行ってきた経緯があるが、このたびJ A 全中会長も経済産業大臣に不利益になる交渉はしないように申し入れもしている。農業の一部門だけを死守することは、他の交渉分野において不利益も予測されるので反対する。

意見書

請願の採択に伴い議員から提出された「少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書」は可決され、意見書を内閣総理大臣等へ送付しました。

佐用町のことが聞きたい!!

8人の議員が斬りこむ



6月定例会の一般質問は、6月10日と11日の2日間にわたって、私たちの身近な課題やまちの将来展望など14件の質問を行いました。

※記事と写真は、質問した議員本人の原稿に基づいています。掲載順は毎回くじ引きで決めています。

質問者	頁	通 告 内 容
石 堂 基	8	① 危険空き家対策に向けた制度整備について
竹内日出夫	9	① コンパクトシティについて問う ② 不妊治療に全額助成を
岡 本 義 次	10	① 夢ある教育・きらめきプラン検証について ② 猿害について
廣 利 一 志	11	① 町職員の健康問題、とりわけメンタル・ヘルス（心の健康）について、検証と改善の状況を問う ② 空き家の利活用について
石 黒 永 剛	12	① 日本創成会議発表のレポートから 集落維持の視点において
金 谷 英 志	13	① 「小規模企業振興基本法」を活かした施策の実施を ② 学校司書の配置が必要ではないか
千 種 和 英	14	① 子育て支援の観点からの学校体育の実施方針は ② 新農産物直売所構想の進捗状況は
平岡きぬる	15	① 住民サービスの低下見直しを求める ② 老朽空き家対策について

「危険空き家」 除却に制度創設を！

いしどう もと
石堂 基 議員

町長―国の制度を含めて検討を進める

問 これまでに実施してきた「実態調査」で、周辺地域に危険を及ぼす可能性があり、除却が必要と考えられる物件の実態把握はしているのか。

町長 平成21年度に行った調査では要除却物件の確認はできていないが、町内600件近くの空き家を確認することができた。その中でも大規模な修理が必要な物件が約3分の1あることから、概ねその物件が除却対象になると考えている。

が十分に行なわれていない空き家等に対する措置ができるように特別法が施行され、県においても昨年からの除却費用に対する助成制度が設けられている。こうした制度を活用し、町内の危険な空き家を整理する必要があるのでは。

町長 適切な管理が行なわれていない空き家は、防災や衛生、景観等の観点から地域住民に深刻な影響を及ぼす可能性がある。早急な対応が必要であるが、所有者自らの責

任で対応してもらうことが第一義であり、それが不可能なものについては地域と協力をして対応を考えていく。

問 22年度各地域から危険空き家に対する相談が10件程度あったと思うが、これらに対する対応は行われているのか。



▲地域景観や衛生面などで問題

町長 22年以降9件の相談があり、緊急性の高いものから地域と連携して対応を進め、所有者や管理者に要請を行った結果、5件については除却が完了している。その他の物件については、当面危険性が低いため適正な管理を依頼している。

問 年数が経過した空き家については、管理者の把握すらできない物件もあり、地域での対応には限界がある。まずは町内



▲県道・歩道への影響も懸念

の「危険空き家」に関する実態調査を行い、制度創設に向けた特別法に基づく協議会や対策計画策定を進める必要があるのでは。

町長 特別法に基づくためには財産権や危険度判定など複雑な課題も多々あるが、町内の空き家は今後増加傾向にあるため、空き家活用や適切な管理依頼を含めて、対応を早急に検討したい。

コンパクトシティの構想があるのかどうか

町長 — 佐用町全体で考えていく必要がある



たけうち ひで お
竹内 日出夫 議員

問 コンパクトシティの構想があるのかどうか。
町長 合併後、住民と取り組んできた地域づくり協議会が中核を担っていくものと考え、その多面的な活動のなかで日々の



▲岡山県新見市（旧哲西町）のコンパクトシティ

暮らしに必要な生活サービスについては、地域と生活福祉サービスエリアを結び外出支援サービスでコンパクトビレッジの形成につなげていきたい。70歳以上の高齢世帯

や独居高齢者が町内に何人おられるのか。

町長 住民基本台帳によると、5月28日現在、高齢世帯は679世帯、独居高齢者は1019人となっている。社会福祉協議会、民生委員、ボランティアグループや地域づくり協議会の地域コミュニティを強化していただき、高齢者の安心で心豊かな暮らしを守るべく各種事業を展開していく。

問 町内には4JR駅がある。この周辺に小さな拠点があれば、姫新線利用促進にもつながると思うがどうか。
町長 既に駅周辺には、役場支所や金融機関など

がある。地域の生活を守るためには、佐用町全体でコンパクトビレッジという考え方で取り組んでいく必要がある。

問 結婚後3年以上経過した子どもに恵まれない夫婦は何世帯おられるのか。
町長 昨年度は婚姻届を出されたかたは57組あり、ここ数年は約60組ある。昨年は91人の子どもが生まれ、子どもに恵まれます不妊治療を申請され治療されているかたは9組を把握している。

50万円、不妊治療支援補助金に80万円を計上している。不妊治療をされるかたは実数としては多くないので、予算総額としては多くかかるとは思っていない。

問 全額助成をすることについてどう考えるか。
町長 全額助成が必要であれば全額助成する。実施に当たっては、経済状況や医療機関の判断などを検討しなければならない。

問 妊娠可能な世帯に全額助成するとしたら、予算はどのくらいかかるのか。
町長 佐用町では平成27年度の当初予算で、妊婦健康診査で9



佐用小中学生の 学力・体力のレベルは

教育長 — 学力は全国平均、体力はやや上回ってる



おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員

問 夢ある教育をどのように教えていくのか。

教育長 人生は希望があつてこそ生きがいがあるという理念を進めている。

教育長 人生は希望があつてこそ生きがいがあるという理念を進めている。

問 各人に夢をもたせ、階段を一步一步登り、近づけるように目標を掲示してやってください。

教育長 事業所のかたや学校、教育委員会、生徒達と反省会をし、新聞や感想文を書いている。

教育長 事業所のかたや学校、教育委員会、生徒達と反省会をし、新聞や感想文を書いている。

問 トライやる・ウィークで働く難しさを体験する

教育長 生命

教育長 生命

問 週1時間道徳の時間をもち、トライやる・ウィークなど課外活動の実践の場で心を育てる。

教育長 生命

教育長 生命



▲スクールバス

問 バス通学になり体力が低下すると思うが、どのようにするのか。

教育長 縄跳び、水泳、駆け足等、身体を動かすようにしていく。

教育長 縄跳び、水泳、駆け足等、身体を動かすようにしていく。

問 読書で一冊でも多く読むようにするには。

教育長 子ども同士の良本の紹介、読み聞かせ、ノーゲーム、ノートV、親子読書など習慣付けをしている。

教育長 子ども同士の良本の紹介、読み聞かせ、ノーゲーム、ノートV、親子読書など習慣付けをしている。

問 食育で柿やキウイを給食で食べさせてほしい。

教育長 地産の物を取り入れた給食で、残さずよ

教育長 地産の物を取り入れた給食で、残さずよ

問 不登校は何人か。

教育長 平成26年中学校26年は0件。

教育長 平成26年中学校26年は0件。



▲上月小学校

問 自転車保険はどうか。

教育長 10月から義務化され保護者には周知している。

問 学力・体力は、他と比べてどの位のレベルか。

教育長 学力は全国平均で体力は平均をやや上回っている。

問 いじめはあるか。

教育長 平成25年では中学校3件、小学校2件、26年は0件。

問 不登校は何人か。

教育長 平成26年中学校26年は0件。

問 網が飛び出る銃を三河等に買ってください。

農林振興課長 研究してみる。

問 猿害に対する対策は

町長 猟友会の有害鳥獣捕獲活動により、昨年14匹、ワナ等で捕獲した。

町職員のメンタル・ヘルス問題の検証・改善は

町長 — 改善に努めている



ひろかが かずし
廣利 一志 議員

問 毎月開催の安全委員会の周知はできているのか。

町長 課長会などでも周知するようにしている。

問 今なおいつ開催されて、どんな内容が話されたのか周知がされていないように思うが。

総務課長 周知にはさらに徹底を期したい。内容は総務課で閲覧できるようにしている。

問 メールで周知、内容確認できないのか。

総務課長 その点については、検討をしたい。

問 保健師が窓口であり、そのスキルアップのため研修が必要と思うが、昨年実施しているのに、今年は何故実施しないのか。

町長 保健師はあくまで補助的、産業医との緊密

な連携で対応していきたい。

問 職員の異動希望アンケート、4月の異動では参考にされたのか。

町長 1月に予定通り実施した。自己申告書として提出してもらった。今後参考にしたい。



▲再生された空き家の古民家

空き家の利活用について(問)

問 住める空き家については、移住希望者にもっと積極的に紹介をすべきでは。

町長 空き家の問題は、難しい問題がある。空き家の全戸調査を実施し、全体を把握していく必要がある。さらに協議会

(案)で持ち主の意向もあるが、どの程度の修理が必要なのか、利活用策によっても違うので検討を進めていきたい。

問 空き家バンクの登録、更新状況、さらには成約は具体的に何戸か。

商工観光課長 登録は44戸、成約は15戸。29戸については、現在問い合わせがあり、職員で聞き取りをし、希望を聞いて、「えん結び」をしている。

問 更新状況について、先進地の状況は理解しているか。

商工観光課長 詳しくは理解していないが、研究をしていきたい。



▲再生された古民家の公開イベント

問 全国には、長野の佐久市、島根の江津市、大分の竹田市などの先進例がある。NPOが介在して成功しているケース、行政が主体的に動いて成功しているケースなどがある。参考にしながら左用町での具体策は。

商工観光課長 承知をしていないので、参考にしていきたい。

問 定住対策室は町営住宅の管理・運営で手いっぱい、移住者への対応ができていないのではないか。

商工観光課長 先進地の成功例などをさらに研究していく。

地方創成会議発表に対する見解は



いしぐろ ながよし
石黒 永剛 議員

町長 — 佐用町が消滅するとは考えていない

問 日本の人口は昭和40年の国勢調査で9827万人。昭和42年には1億人を突破し平成16年の1億2779万人をピークに、以後8年連続減少となっている。

地方創成会議は、人口の流出・少子高齢化によって近い将来896の市町村が消滅すると報告している。消滅しなくても人口の自然流出が止まらない限り、佐用町にあってはその危惧がある。議会報告会においても少子化の質問があった。

日本創成会議の報告は一つのレポートであるが、これに対して町長の見解は。

町長 佐用町は消滅可能性のある町とされているが、町が消滅するとは私は考えていない。大都市とは比較にならない、安心安全な自然に恵まれた環境を創造し、この中で子どもを産み育てる施策を行い、都市部への流出に歯止めができるのではないかと考える。

佐用町では、長年少子化による人口減少に向か

い合っている。今後、地方創生総合戦略を作成し、元気の出る施策を進め、人口が減っても安心して暮らせるまちづくりを目指す。

問 限界集落とは、65歳以上の高齢者が50%を超え、集落機能の維持が難しい状況にある地域をいう。また、集落にあって年齢が55歳未満の人口が50%以上、集落行事が維持、継続可能な集落を継続集落と考える方を示している。佐用町はどの分類になるのか。

町長 現在134自治会の内19自治会が限界集落に該当している。存続集落は39自治会である。

しかし、今後は一つの集落で農業や消防など行っているのは困難であり集落間の協力が必要となってくる。

問 今後、自治会統合も視野に集落維持を考えなければならぬ。三日月地域で統合した自治会の運営はどうなっているのか。

町長 自治会組織の運営が困難な場合、選択肢と



▲空き家となった家屋（三朝町中津地区）

して自治会の統合も必要であると考えている。町としても自治会の抱える課題を検討し、統合した

自治会については支援を行っている。

小規模企業の振興策は

町長一國の施策を活用する



かなたに えいし
金谷 英志 議員



▲小規模企業は町活性化に重要な役割・佐用商店街

問 昨年6月『小規模企業振興基本法』が成立した。これは、小規模企業（従業員20人以下、商業・サービス業は5人以下）を支援する施策を国・地方自治体・支援機関が連

携して実施することを定めた新法だ。町長は、町内小規模企業の役割をどう捉えているのか。
町長 平成24年の経済センサスでは、本町の全事業所数は985事業所、内19人

は985事業所、内19人以下は916事業所で93%を占めている。小規模企業の育成と活力向上を図ることが、地域経済の活性化と町民生活の維持に重要な役割をもっている

と考える。
問 同法で地方公共団体（町）は、その区域の自然的・経済的・社会的諸条件にに応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。としている。施策の具体化をどう図るのか。
町長 町が独自に施策を策定し実施するというのは困難だが、国の措置の有効活用を商工会と協力のもと、町内企業の振興が図れるよう取り組む。

問 施策を策定する上で事業所の状況調査が必要ではないか。
町長 町独自の調査の予定はないが、今後必要になれば商工会とともに実施する。

学校司書の配置が必要では

教育長―検討する

問 学校図書館には、学校図書館法に基づく司書教諭が配置されているが、授業や学級担任をしながら図書館業務にあたる兼任で、これでは学校図書館の業務を日常的に担うことはできない。
学校図書館は図書を整備とともに、実際に子どもたちや教員が活用するものである。学校司書の配置が必要ではないか。
教育長 専門性を持った学校司書の配置は、子どもたちの学びや育ち、心を豊かにするものと考え、必要性は認識している。検討課題である。



▲三日月小学校図書室

中学校の部活動の取組方針は

教育長―部活動としての新種目の増設は難しい



ちくさ かずひで
千種 和英 議員

問 区域外通学の現状は把握できているのか。

教育長 区域外通学は、町外へ5人、町内へ2人でいずれも小学校時代の競技種目を中学校の部活動で続けていくためである。

問 本町での今後の取り組み方針は。

教育長 基本的には、部活動の設置については、学校長の裁量によるが、教育委員会としては様々な条件から現状が適切だと判断している。

問 新しい部の開設の課題は。

教育長 顧問となる教員の不足。また、他校との共同チームとの考え方もあるが移動の手段や、練習時間を確保することができない等の課題がある。

問 社会体育との連携の可能性は。

教育長 外部指導者の活用についても様々な課題があり難しい。教育行政における部活動の役割の認識は。

問 公立中学校の部活動は、基本はそれを通して健康や情操を養うものであり、競技種目として生かしていくには制約があることを理解してほしい。

問 区域外通学者の通学方法や学校内での時間調整に関して柔軟な対応はできないか。

教育長 区域外通学の条件については、親の責任においてなっている。



▲町内中学校の部活動にはない種目(バスケットボール)



▲道の駅が計画されている芝生広場

新農産物直売所構想の進捗状況は

問 周辺環境が変化したことだが、それをふまえた進捗状況は。

町長 3月議会の答弁からの計画としての進捗はない。環境の変化としては、播磨科学公園都市に県企業庁が道の駅を計画しているとの打診が、佐用町、たつの市、上郡町

にあった。ただ、具体的なものではなく詳細な検討はできない。

問 生産者の育成と販路の拡大を同時に進めてほしい。

町長 同じ思いであることをこれまでも答弁している。経営できる農業の育成と、一体的に販路の拡大を目指している。

特定健診など 住民サービスの低下見直しを

町長 — 2 会場で健診してもらって理解してもらおう



問 ①特定健診会場を左用保健センターと南光文化センターの2会場にする理由。②会場までの交通手段の検討。③健診会場が削減される利神・江川・三河・上月・三日月の5会場地域関係者には

ら8月4日まで延べ14日間実施。40才以上の社会保険外が対象。会場へ徒歩や自転車での参加は少数。夏場で体育館での健診は負担になっていた。上月保健センターは閉館、三日月会場は駐車場スぺー



▲特定健診のようす

事前に周知せず、町の一方的な結果を押しつけるやり方は重大な問題だ、見なおしを求める。④健診の受診率が低下しないか。ペナルティーはないか。

町長 集団健診は、生活習慣予防で今年は7月4日か

スが少ない。利神小・江川・三河会場は受診者が減っている。交通手段は町内全域をカバーできるさよさよサービスと江川ふれあい号を無料にする。ほとんどのかたは車であり理解してもらえると判断。

住民課長 6月9日現在1750人が申し込み、30人。無料券を発行する。ペナルティーは聞いているが、具体的に把握していない。

問 税金相談会場を、平成27年度は2会場を削減して7会場にし、最終的に5会場にするこの計画は、住民サービスの低下だ。

町長 平成26年度、2月

16日から3月16日まで22日間、9会場で実施。税務課11人延べ165人、他課から応援55人延べ151人。合計66人延べ316人、4班集体制。相談内容も多岐にわたる。職員の削減で効率的にできないようにし、サービスが低下しないようしたい。

問 高年大学は旧町毎に4会場で開催してきた。

教室統合は、会場が遠くなり参加できにくくなる高齢者がうまれる。

町長 旧町単位で一般教養を実施、参加者は減少している。平成25年度から合同講座を開催。統一で交流の場が広がる。陶芸・書道・盆栽・囲碁などは従来の会場で実施。



▲高年大学のようす

ひらおか
平岡 きぬほ 議員

13地域づくり協議会単位で実施

平成27年度予算概要や委員会の活動を報告 152人の参加

身近な話題に活発な意見!!

議会運営委員会

委員長 矢内 作夫

町議会では、去る、5月18日から26日までに7日間、13地域づくりの協議会において、2班集体制による本年度第1回目の議会報告会を実施しました。参加いただいた方々は、夜間お疲れのところ本当にありがとうございました。

みなさまからいただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に生かしていくとともに、行政当局に伝えるべき事柄は適切に伝えてまいります。

報告会を終え、反省と今後の取り組みについて協議し、当面は3月定例議会（予算議会）と9月定例議会（決算議会）の終了後の年2回、会場は今回と同じ13地域づくり協議会単位で行うことになりました。

今後ともみなさまのご参加をよろしくお願い申し上げます。

会場では活発な意見が

「ご意見の一部を紹介します」

●笹ヶ丘荘を民間委託する議論はあるのか。

●急な坂道を上るクリンセンターを「木の駅」にすることについて議会は議論しているのか。

●議会報告会の参加人数が少ないが、少なくとも継続するのかが。

●町民アンケートで、多くのかたが議員報酬は多いと回答しているのに、その結果を無視する形が理解できない。また、町民の多くは議員の資質の問題で高いと思っていると考える。

●利神城の石垣の掃除、智頭急行の線路周辺の清掃、御殿屋敷対岸の整備など平福住民の国指定に向けた機運は盛り上がっている。議会として力強く支援、推進をお願いしたい。

●利神城だけでなく長谷、

石井、上月城、福原城、三日月の武家屋敷などとジョイントし、観光客を呼び込む仕掛けが必要では。

●綾部市とは、原子力災害時の避難先ということで、姉妹提携を含めた普段からの交流が必要では。

●海内の奥2キロメートル先、3級町道だけと危険箇所がある。応急措置で対応してほしい。

●委員会の行政視察の結果は、学校跡地活用を検討する地域づくり協議会へも情報提供してほしい。

●地域おこし協力隊を3月に募集しているが希望者がいない。13の地域づくり協議会に1人は最低募集してほしい。募集は軽トラが必要だとか、具体的な条件や目的を明示すべきだ。

●国道373号の通行止



▲江川地区文化センター会場



▲ゆう・あい・いしい会場

めについて、議会はどの
ように報告を受け、どう
対応したのか。
●森林事業の500万円
は、個人にも出るのか。
●石井財産区とは何か。
石井財産区と久崎財産区
の違いはなにか。
●子育て支援センターの
検診時間が子どもの昼寝
の時間だ。もっと配慮を。
●プレミアム商品券は商
店の利益につながってい
ない。過去の実績を十分
検証したのか。
●議会報告会は意味がな
い。事業説明は町がやる
べきだ。
●高齢化になり人口減少
が進んでいる。議会はど

のように考えているのか。
●持ち主不明の空き家も
ある。危険廃屋の対応は。
●南光保育園の新設は、
安全面や長期的なことを
考えて決定してほしい。
●防災行政無線放送用に
設置している公民館の電
話代が自治会の負担になっ
ている。
●けんこうの里三日月は
お客が来る方法を考えよ。
●徳久バイパスの農産物
販売所はどつなつたのか。
●森林整備をしてほしい。
切り捨て間伐は補助金が
出ない。

会場でのアンケート

参加者152人中136人が回答（89%）

**9割以上が議会報告会を“評価する”
次回も協議会単位でが“74%”**

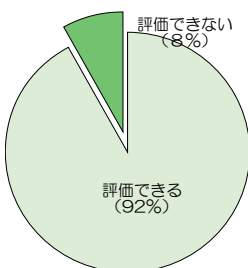
貴重なご意見ありがとうございました。

意見欄

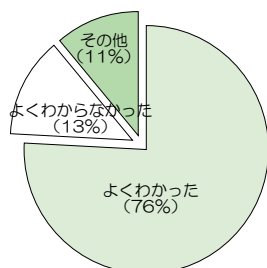
※抜粋

- ①開催曜日について
 - ・農繁期は外してほしい。
 - ・女子も出席しやすい時
間にすべき。
- ②開催場所について
 - ・開催直前の放送で参加
者が増えないか。
 - ・協議会単位は出席しや
すく意見も出しやすい。
- ③説明と内容について
 - ・参加者が少ないのなら
会場を統合しては。
 - ・佐用町の具体的なビジョ
ンが見えない。どんな
町を目指すのか住民と
ともに話し合う場に。
・議会だより以外のこと
が聞きたい。
- ④報告会について
 - ・ポイントを絞って、議
員は少人数でもよい。
 - ・議会がチェック機能を
果たした実績の報告を。
 - ・開催することに意義が
ある。
 - ・議員は各地域を回って
自分の目で実態を確認
してほしい。
- ⑤その他
 - ・テーマを決め住民の意
見を聞く報告会に。
 - ・議員は地域のイベント
にもっと参加を。
 - ・報告会を佐用チャンネ
ルで放送してほしい。
 - ・視察研修したことを佐
用町に生かしてほしい。
 - ・コミバス路線の増を。
(海内線、石井線)
 - ・参加者が少ないのは議
会に興味がないため。
わかりやすく活力ある
議会を望む。
 - ・議員活動の中から行政
に提起すべきことを述
べてほしい。
 - ・若者が参加しても年配
者ばかりが質問して発
言しづらい。
 - ・住民にわかりやすい議
会だよりを。
 - ・議員報酬の改訂には厳
しい意見があるが、今
日の説明でよかった。
 - ・町民への説明、理解を
得る努力を。
 - ・住民が腰を上げないと
いけない。

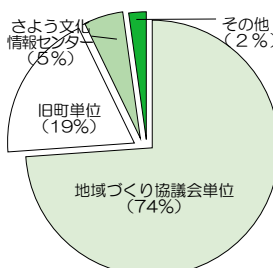
④報告会の評価は？



③説明と内容は？



②開催場所は？



アンケート結果

- ①次回の開催希望曜日は？
→土曜日49%、平日35%、日曜日16%
- ②開催場所は？
→協議会単位74%、旧町単位19%
- ③説明と内容は？
→よくわかった76%、わからなかった13%
- ④報告会の評価は？
→評価できる92%、できない8%
- ⑤次回の参加は？
→参加したい92%、したくない8%

通学路は安全か 統合校のバス路線を点検 (6/3)

総務委員長 小林裕和

佐用・上月・南光小学校
のスクールバス路線の現
地調査を実施

小学校統合により新た
に増えたスクールバス路
線及び乗降箇所(バス停)
の安全確認と、管理運行
規程による運行状況等の

現地調査を行いました。

現地確認の後、児童・

保護者、学校、運行委託

業者等の緊急時の連絡体

制、地域の児童数による

路線及び乗降箇所の変更

等について質疑を行い終

了しました。

調査行程

佐用小→東中山→未包→桜山→皆田
西徳久←南光小←多賀←櫛田←大酒←



▲通学路調査

利神城跡 委員らで本丸跡まで踏査

国指定に向け期待高まる (4/22)

産業厚生委員長 石堂 基



調査目的

本年度予算では、利神
城跡の文化財指定に向け
た整備費用として120
0万円が予定されている
ため、平福を含めた城跡
の現状を調査しました。

調査内容

利神城跡に宿場町及び御
殿屋敷を含め整備が必要

当日は、教育委員会専
門員の説明を受けながら、
平福駅周辺から調査を行
いました。

御殿屋敷の石垣の現状
調査を行った後、平福側



▲本丸を目指して登頂する委員

から登城路の損傷状況や
危険箇所における整備の
必要性なども調査しなが
ら、本丸城跡まで踏査し
ました。

城跡部分は、平福側か
ら目視できる石垣の損傷
も確認しましたが、城跡
北側と東側の直立した石
垣に相当な変形があり、
整備の課題となることが
確認できました。

また、周辺全体で立木
が繁茂しているため、指
定調査に際しての整理が
考えられます。

全議員で統合校視察 学校運営は順調

(5/2)
学校・保育園規模
適正化調査特別委員会

委員長 廣利一志

昨年4月に統合し、新
校として出発した佐用小
学校及び南光小学校の現
状を視察しました。

校長、教頭及び教育委
員会・教育長、次長、課
長等が出席し、学校概要
の説明を受けた後、施設



▲佐用小学校

の調査、意見交換を行
いました。

意見交換では、統合し
たことによるいじめがな
いか、スクールバスは円
滑に運行されているかな
どを質問、順調に学校運
営されていることを確認
しました。

鳥取・若桜鉄道SL試験運行

姫新線復活を目指して議員視察 (4/11)

姫新線でSL復活を実現するため、地域資源の活用と経済効果、沿線自治体の支援状況などを調査目的に、鳥取県・若桜鉄道を視察しました。

1日限りの実験走行ということで、人口3,500人程の町内沿線には約1万3千人もの鉄道ファンが集まり、駅周辺で同時開催されたイベントでは、地元グルメや農産物が販売されており、観光客を楽しませていました。



観光客が増加することは見込まれるが、町内にどのように経済効果をもたらすか、その仕組みづくりも同時に考えていく必要性を感じました。また、沿線の安全確保や駐車場確保、警備の問題など多くの課題を確認することができました。

加古原 瑞樹

組合議会報告

にしはりま環境 事務組合

組合議会議員 小林裕和

第27回臨時会 (5/21)

西はりまクリーンセンターにおいて臨時議会が開催され、石黒永剛議長が辞職を承認し、佐用町議会議員から西岡正氏が組合議長に選出されました。任期は、残任期間の平成29年1月までです。

西はりま消防組合

組合議会議員 石堂 基

第2回臨時会 (6/25)

西はりま消防組合(たつの市揖保川町)において、本年第2回の臨時会が開催されました。今回の臨時会では、議長・副議長選挙や監査委員の選任、財産の取得、条例改正などが審議され、議案については、原案のとおり可決されました。

●議長・副議長選挙

議長 今川明議員(たつの市)、副議長 中藪清志議員(太子町)、監査委員 楠田道雄議員(相生市)

●財産の取得

災害対応特殊救急自動車取得金額は、3073万2千円、取得先は兵庫トヨタ自動車(株)で、相生消防署に配備されます。災害対応消防ポンプ車

●職員再任用に関する 条例改正

この条例改正は、被用者年金制度の改正に伴うもので、職員の再任用に関する条例において、任期特例を地方公務員等共済組合法から厚生年金法に改正するものです。

取得金額は3132万円、取得先は(株)藤井ポンプ製作所で、たつの消防署に配備されます。

功労者表彰おめでとうございます H27.6.1 (神戸市)

※議員歴に応じて表彰されました

○全国町村議会議長会長表彰

- ・27年以上 西岡 正議員
- ・15年以上 金谷英志議員、(前)笹田鈴香議員
(前)高木照雄議員

○兵庫県町議会議長会長表彰

- ・20年以上 石黒永剛議員、岡本安夫議員、矢内作夫議員



▲表彰式に出席した議員のみなさん

左から 岡本安夫議員、矢内作夫議員、西岡正議員、金谷英志議員

合併10周年記念行事

「子ども議会」を開催します

佐用町の将来を担う子どもたちに、町議会の模擬体験を通じて行政や議会への理解を深めてもらおうと、合併後はじめての「子ども議会」を開催します。

14人の中学生が1日議員となり、まちの発展を願って一般質問をします。答弁は町長及び教育長、役場の課長が行います。

どなたでも傍聴できますので、ぜひご来場ください。なお、傍聴席に入りきれない場合はロビーでモニターをご覧ください。ご了承ください。(傍聴席45人・先着順)

●日時 平成27年8月27日(木)
午前10時00分 開会
～12時00分(閉会予定)

●場所 佐用町役場3階 議場

●共催 佐用町議会・佐用町・佐用町教育委員会



届け!!
子どもたちの願い

受賞おめでとうございます



兵庫県自治功労者表彰
(5/18)
石黒永剛 議員

4月に統合したママブ
ラザで、楽しそうに遊ん
でいたのは尾崎心咲ちゃ
ん(秀谷)。
この日初めて会ったと
は思えないほどみんなと
仲良く遊んでいる。
友達の表情を観察し、
泣いている子に優しく接
する心咲ちゃんの姿に、
お母さんもうれしそう。
名前の『咲』という文

字には笑うという意味が
あり、心から笑える子に
育ってほしいとつけられ
た。
その名の通り最高の笑
顔で家族のアイドルとし
て活躍しているようだ。
弟の心哉君のお世話を
する姿は2歳にして早
くもお姉さんとしての自
覚を感じました。
加古原瑞樹

表紙写真によせて



おさき しんや おさき みさ
尾崎 心哉くん 尾崎 心咲ちゃん
(0歳3ヶ月) (2歳6ヶ月)

議会だよりでは笑顔いっぱい
の子どもたちを紹介します

9月定例会の予定

- 7(月) 本会議(議案上程)
 - 8(火) 決算特別委員会
 - 9(水) 決算特別委員会
 - 15(火) 本会議(一般質問)
 - 16(水) 本会議(一般質問)
 - 17(木) 本会議(一般質問)
 - 18(金) 本会議(質疑)
 - 24(木) 総務委員会
 - 25(金) 産業厚生委員会
 - 30(水) 本会議
(討論・採決)
- ※一般質問の模様は佐用チャ
ンネルで放映します。

編集後記



今年のホタルは、気の
せいかいつもより長い間
飛んでいたように思いま
す。

議長が石黒議長から西
岡議長に交代しました。
西岡議長は、兵庫県町議
会議長会の会長にも就任
されました。前議長から
議会改革を引き継ぎ、8

な意見を聴かせていた
き、議会への期待の大
さを再認識しました。
毎年8月は佐用町にとっ
て決して忘れてはいけな
い日が来ます。
安心、安全はもちろん
のこと地方創生にさらに
邁進していきます。
岡本安夫

議会広報特別委員会

- 委員長 岡本 安夫
- 副委員長 千種 和英
- 委員 加古原瑞樹
- 委員 小林 裕和
- 委員 廣利 一志
- 委員 竹内日出夫

月には子ども議会の開催
も計画しています。次の
参議院選挙は18歳から選
挙ができます。議会がもっ
と身近に感じてもらえれ
ばと思います。
議会報告会では、意見
交換の中で、様々な貴重